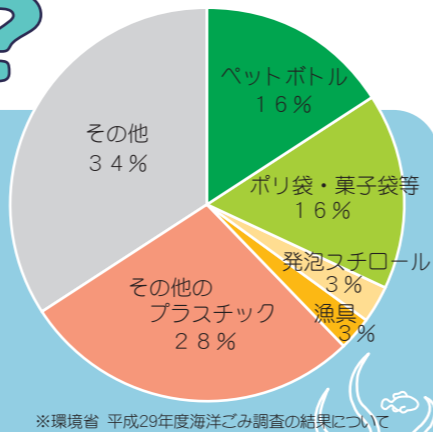


# 函館市の状況は？

## ▶ 海岸の様子

本市海岸において、環境省が平成29年度に実施した海岸漂着ごみに係るモニタリング調査結果によると、自然物と人工物の割合は、容積ベースで38%が人工物で、そのうち66%がプラスチックごみとなっています。

プラスチックごみのうち、漁具なども含まれていますが、多くは陸上で発生したペットボトルやポリ袋・菓子袋などの生活系のごみとなっているため、プラスチックごみ対策は重要な課題であり、より一層、プラスチックごみの適正な処理と排出抑制に取り組んでいく必要があります。



※環境省 平成29年度海洋ごみ調査の結果について

## マイクロプラスチックとは？

プラスチックごみがポイ捨てされたり適切に処分されないことにより、風や雨などで運ばれ最終的に海に流れ込み、紫外線や波の影響で細かく砕かれ5mm以下になったものを「マイクロプラスチック」といいます。



## 問題点

- ◎マイクロプラスチックはとても細かいため、海に流れ出してしまうと回収が困難になり、自然に分解されないため半永久的に海に残り続けます。
- ◎細かくなったマイクロプラスチックを海洋生物がえさと間違えて食べてしまい、消化されないため、本来のえさを十分に食べることができず死んでしまうという事例もあります。
- ◎有害物質を吸着しやすい性質があるため、魚などが食べてしまうと体内に有害物質が蓄積される可能性があり、その魚を食べることで人間にも影響を与えてしまう可能性があります。

## ▶ 取り組み



### ▶ プラスチックごみ削減ポスター

海洋プラスチックごみ問題に関するポスターを作成し、市内小中学校・町会・自治会および公共施設等に配布、掲示することにより、意識啓発を促進しています。



### ▶ ボランティア清掃

環境美化実践運動として、ポイ捨てごみを拾い、街をきれいにするために、町会・自治会・事業所および協力団体等と連携し、春と秋の全市一斉清掃や函館港まつり翌朝清掃等のボランティア清掃を推進しています。

### ▶ プラスチックごみ削減キャンペーン

10月の3R推進月間に合わせ市内スーパー等において、プラスチック製品の利用抑制、ポイ捨て防止、海洋プラスチックごみ問題に対する意識向上を図るため、パネル展示やポスターの掲示により啓発活動を実施しています。



函館市の「プラスチックごみをなくしましょう」のホームページはこちら



### ▶ 海洋ごみ防止啓発看板の設置

市内の海岸11カ所に海洋ごみ防止啓発看板を設置し、プラスチックごみ等の海への流出防止の周知・啓発に努めています。



## ▶ 環境目標

家庭系ごみの1人1日当たりのごみ排出量

**679g**以下<sup>※1</sup>  
(令和6年度)

リサイクル率

**20%**以上<sup>※1</sup>  
(令和6年度)

ごみのポイ捨てをしない持ち帰る人

**100%**<sup>※2</sup>  
(令和12年度)

マイバッグ持参率

**80%**<sup>※2</sup>  
(令和12年度)

※1 第3次函館市一般廃棄物処理基本計画

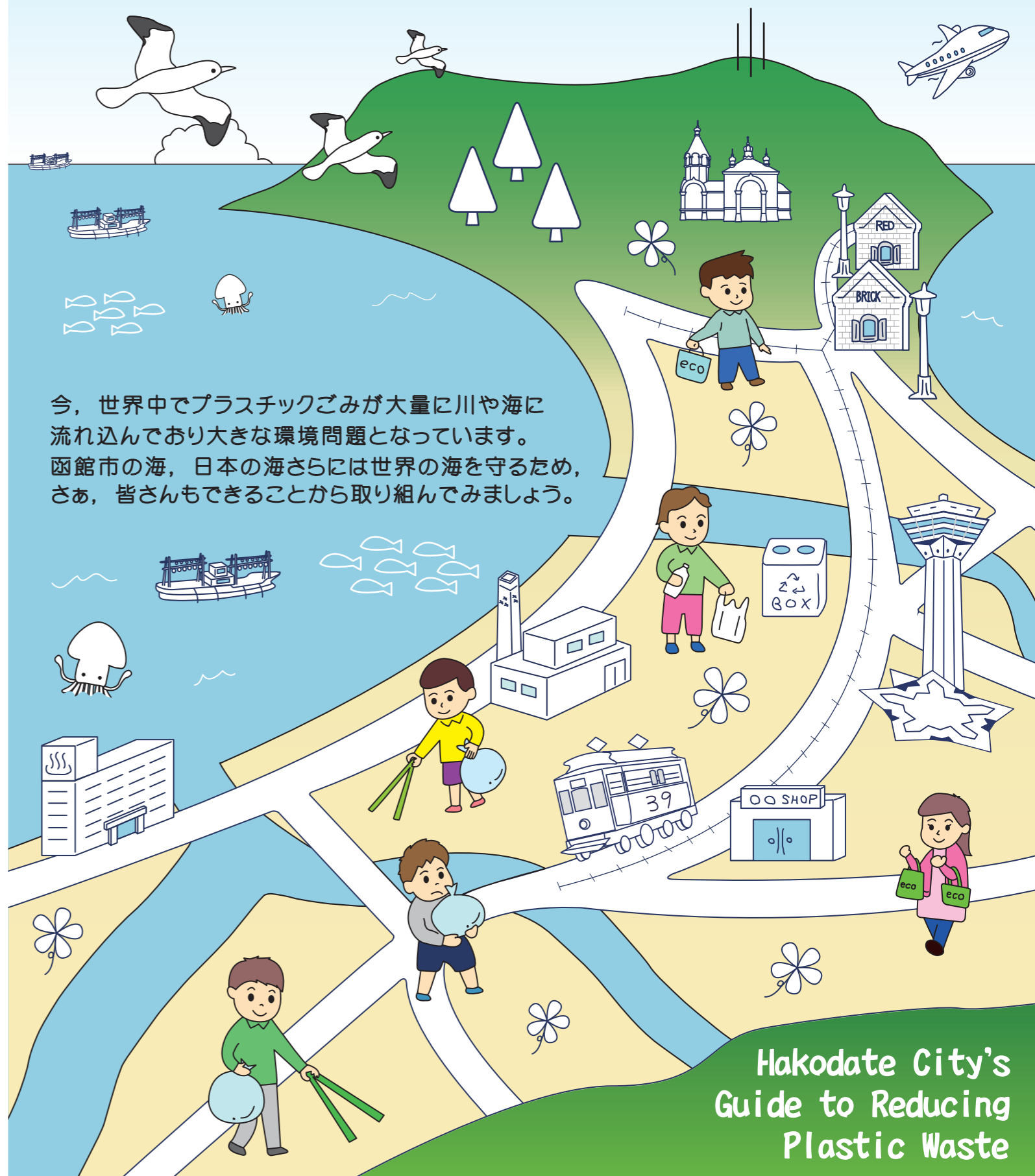
※2 函館市環境基本計画(第3次計画)



この印刷物が不要になったら集団資源回収へ

函館市は、環境省が推進している「プラスチック・スマート」フォーラムに参加しています。

# はこだて プラスチックごみゼロガイド



今、世界中でプラスチックごみが大量に川や海に流れ込んでおり大きな環境問題となっています。函館市の海、日本の海さらには世界の海を守るため、さあ、皆さんもできることから取り組んでみましょう。

Hakodate City's Guide to Reducing Plastic Waste



# やってみよう！！

# 今日からできること

## ▶ 海洋プラスチックごみ問題

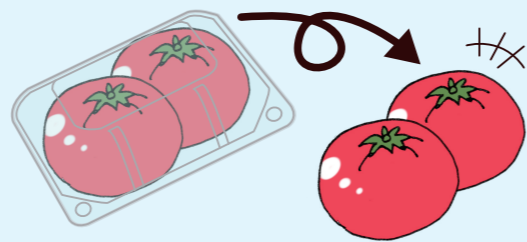
プラスチックは、私たちの生活に幅広く利用され、なくてはならないものとなっています。軽い、丈夫、加工しやすいなどの利便性をもたらし、ありとあらゆるものがプラスチック製品として大量に生産されるようになりました。

一方で、一度使用したあとにその役目を終える使い捨てプラスチックがポイ捨てや不適正な処理のため、大量に川や海へと流れ込み、このままでは2050年までに海洋に流出するプラスチックの重量が魚の重量を超えてしまうと予測されるなど地球規模での環境汚染が懸念されています。

このため、私たちは不要なごみを減らし、リサイクルできるように適正に処理し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）をさらに推し進めることが大切です。家庭、学校や職場、外出先などから取り組み、私たち自身のライフスタイルを見つめ直し、プラスチックを賢く使う工夫をしていく必要があります。



弁当箱、マイボトル、マイカトラリー\*を繰り返し使用しましょう！  
一度使用したら廃棄されるストローやフォークなどのプラスチック製品の使用は控えましょう。  
\*カトラリー…食卓用のナイフ・フォーク・スプーンなどの総称



プラスチック容器包装の少ない商品を選ぼう！  
過剰包装を避けた買い物をしてみましょう。



マイバッグを持って買い物に行きましょう！  
不要なレジ袋は断りましょう。

忘れないようにかばんの中に入れておき、持ち歩くと便利です。



ポイ捨てをしない！  
マナーを守ろう！  
風で飛ばされて川や海へ流れ込んでしまいます。

外出先で発生したごみは、家に持ち帰り、きちんと分別しよう！

ポイ捨てが海洋プラスチックごみ問題に繋がります。

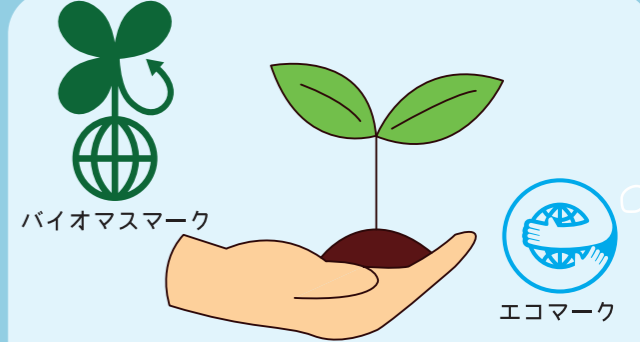


詰め替え商品を利用し、繰り返し使用しましょう！  
プラスチックごみの減量化に努めよう。

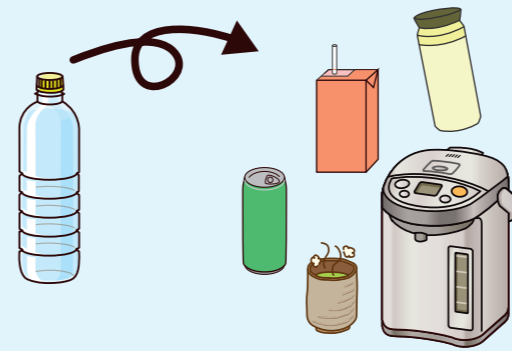


地域の清掃活動に参加してみよう！環境美化に繋がり、意識も高まります。また、プラスチックごみの多さにも驚きます。

函館市でも清掃活動を推進しています。ぜひ参加してみてください。



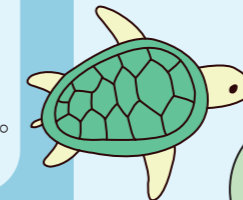
エコ素材のものに切り替えよう！  
リサイクル製品やプラスチックではない素材のものを選んでみましょう。  
植物由来のバイオマスプラスチックというものもあります。



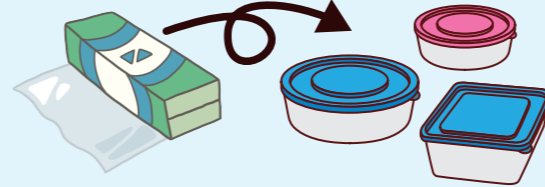
打合せや会議などを行うときには、缶、紙パック飲料やマイボトルなどを使用しましょう。  
ペットボトルは使用を控えよう！



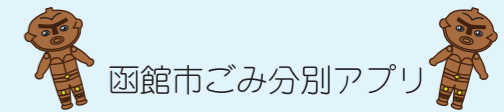
ごみの分別をしっかりとしましょう！  
適切な分別により、ごみの減量化やリサイクル率の向上のほか、指定ごみ袋等の節約にも繋がります。  
ゴミ袋に入れる前にもう一度確認しよう！  
プラスチック容器包装はPETマークが目印です。



ペットボトルのラベルとふたはずして、プラスチック容器包装へ出してください。



食品用ラップフィルムの使用を控え、ふた付きの食品保存容器を使用しましょう！  
耐熱のものを使うと電子レンジでも使えて便利です。



函館市ごみ分別アプリ

家庭ごみの収集日や分別方法など、ごみに関する情報をスマートフォンなどの携帯端末から確認できるのが、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」です。ごみに関する様々な情報を調べることができますので、ぜひご利用ください。  
HPからダウンロードできます。



## ▶ プラスチック資源循環戦略

国は、資源・廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化、アジア各国による廃棄物の輸入規制等の幅広い課題に対応するため、3R+Renewable（持続可能な資源利用）を基本原則としたプラスチックの資源循環を総合的に推進するための戦略を策定し、取り組みをしています。

- 〈リデュース〉  
① 2030年までにワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制  
〈リユース・リサイクル〉  
② 2025年までにリユース・リサイクル可能なデザインに  
③ 2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクル  
④ 2035年までに使用済みプラスチックを100%リユース・リサイクル等により、有効利用  
〈再生利用・バイオマスプラスチック〉  
⑤ 2030年までに再生利用を倍増  
⑥ 2030年までにバイオマスプラスチックを約200万トン導入

